



アメリカではチップは想定内の収入

Tipping in the U.S.A.

故郷のペンシルバニア州では、日本の消費税にあたる売上税の基本の税率は6%です。タバコなど、18%の高い税率が課税されるものもあります。逆に、食品や衣類には税金はかかりません。



レストランディナー(イメージ)

物の値段とは別に、アメリカでかかるのは、ホテルやレストランやバーやサービス業の人へのチップです。レストランのウェイター、ウェイトレスやタクシーの運転手などにチップを支払う習慣があります。日本だと「特別な場合に払う」と考えがちなチップですが、彼らにとっては大事な基本の収入源です。

タクシー運転手やウェイターやウェイトレスの基本給は、低く設定されているので、必然的に収入に占めるチップの割合が非常に高くなります。目安はペンシルバニアなら、レストランでは飲食料金の15~25%が普通です。



Jamie Reed(ジェイミー・リード)

アメリカ、ペンシルバニア出身。企業向けや個人向けの英会話講師の他、雑誌や教科書編集の英文コピーライター、英文校正者としても活躍。東京在住の人気外国人講師として雑誌などに随時登場。

サービスが良ければチップを多くもらえ、そうでなければ金額は減ります。お客さんに対する態度で収入合計が多くなったり少なくなったりするわけです。

お金を払う側からすると、レストランでカップルでフルコースのディナーとワインを頼んだ場合、一人100ドルとして2人分で200ドルだったとしても、チップ込みだと合計250ドル以上支払うことになります。

ちなみに、ニューヨークの場合はチップの相場はもっと高く、25~30%くらいが普通だそうです。

日本ではチップをもらわない場合でも店員は丁寧ですが、アメリカの場合はチップの習慣がなければ対応がだいぶ違うはずです。



(PHOTO)写真AC (イラスト)イラストAC

Key



Phrases

- **Because waiters have to earn tips in the USA, their kindness can sometimes feel insincere.**

アメリカではウェイターはチップで収入を増やそうとしているので、丁寧な対応も心からとは言えません。

***insincere** 心からではない、見た目だけの